北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート

かわら版

第三十二号

職業体験施設を誘致しよう！

行政視察を行い、6月の市議会で一般質問に臨みました。

昨年12月、北九州市にあるスペースワールドの閉園が発表されました。地元では存続を求める署名活動なども行われており、閉園を惜しむ声があります。

何を隠そう私も八幡東区生まれで、スペースワールドが誕生した平成2年は私がちょうど中学校2年生の時でした。オープンしたばかりのスペースワールドに行って、宇宙飛行士の体験プログラムをしたことを今でも覚えています。

それから数年後、今度は大学生になるとアルバイトのクルーとして毎日のようにスペースワールドへ通っていたことを思い出します。

スペースワールドが誕生して30年。北九州市に当たり前のように存在してきたスペースワールドの閉園という話が突然のように伝わり、驚きを隠せない中、先の3月定例会、6月定例会と市議会でもこの話題が取り上げられたところです。

私もこの6月議会ではこの話題について取り上げました。

一、スペースワールドのこれまでの入場者数

オープン初年度の平成2年185万人だった入場者数は、3年後の平成5年には202万人となり、大台の200万人を突破し、平成9年には216万人と最多を記録しています。

しかしこの平成9年をピークに入場者数は減少に転じ、平成12年には200万人を割り込み194万人、翌年には150万人と下落に歯止めがかからない状態でした。

平成19年に過去最低の入場者数147万人となった後は徐々に回復傾向にありましたが、その後平成24以降は入場者数が発表されなくなってしまいました。

年度（平成）	入場者数（万人）
H2	185
H4	190
H6	207
H8	215
H10	210
H12	200
H14	184
H16	165
H18	148
H20	154
H22	157
H24	164

（資料提供：北九州市）

二、どうなる北九州市の観光政策

スペースワールドはこれまで北九州観光の柱として、ファミリー層から修学旅行まで、多くの観光客が訪れる施設でした。この施設の閉園により本市の観光に大きな打撃を与えることが懸念されます。

本市は「ものづくり」と「環境」を強みに、産業分野から地域の歴史や本市ならではの特徴を知る、産業観光を推進しています。スペースワールドがある東田地区は、官営八幡製鐵所の東田第一高炉や、環境ミュージアムがある産業観光の中心と言える地域です。

この地域から観光の大きな目玉であるスペースワールドが無くなってしまうという事は、北九州市の観光政策にとって非常に大きな打撃を与えると考えられます。

三、職業体験施設「カンドゥー」とは？

今回視察に伺った職業体験施設「カンドゥー」は、対象年齢が3歳から15歳までで、30種類以上の仕事体験をすることができる施設です。

実際の企業が子供たちに対して本格的な職業体験の場を提供し、子ども達は仕事に応じてその施設で使うことのできる通貨をもらいます。そのようにして得た通貨を使ってお客さんにもなり、あたかもその空間の中では子供たちの小さな社会が繰り広げられているようです。

「カンドゥー」で体験できる職業は、飛行機のパイロットや客室乗務員、助産師、ファッションモデル、銀行員、カフェ店員、アナウンサー、警察官、救急救命士、モノレール運転士など多岐にわたり、私が視察した千葉県幕張では約300名程度であれば貸し切りも可能との事です。

四、施設の誘致で新たな魅力を！

この手の施設は他に関東に2箇所、関西にそれぞれ1箇所ずつあります。

なぜ「カンドゥー」なのか？と疑問に思われる方もいると思います。職業体験施設「カンドゥー」は、イオン系の子会社で、職業体験施設は全国で東京と千葉、兵庫の3箇所しかありません。今回、スペースワールドが閉園となると、本市への産業観光の集客の柱が無くなってしまい、修学旅行客などの減少など本市観光産業に大きな打撃が与えられかねないと考えます。

それに代わるものとしての職業体験施設は、産業観光としての新しい中核になると考えられ、幅広い集客効果と職業体験が与える教育的な効果も認められており、本市市民に与える影響は大きく、意義あるものになると考えます。

”スペースワールドの閉園“という残念な話で市民が行く末を心配している今こそ、職業体験施設の誘致へ取り組み、市民に新たな希望を示すべきであると考えます。

引き続き職業体験施設の誘致に向けて取り組みを続けて参ります。

寄付のお願い

大久保むが応援団では議員の活動支援のため、個人寄付と応援団「絆クラブ」の2つの方法でご協力のお願いをしております。

活動資金が厳しい中ではありますが、様々工夫をしながら皆様により多く市政に関わる情報をお伝えしたいと思っております。

頂きました浄財は皆様に市政の情報をお伝えする市政レポートの発行に活用させていただいております。

ご協力いただけます方は、下記2つの方法から選んでいただき、お支えを賜りますようお願い申し上げます。

金額の指定はございません。
頂いた浄財の想いを受け、政治活動に活用させていただきます。

① 個人寄付

ゆうちょ銀行
・記号:17410　・口座番号:83659011　・名前:オオクボムガオウエンダン
（他金融機関からのお振り込みの場合）
・店名:七四八（ナナヨンハチ）　・店番:748　・種目:普通預金　・口座番号:8365901
福岡ひびき信用金庫
・店名:折尾支店　・口座番号:1202105　・名前:オオクボムガオウエンダン

② 絆クラブ

毎月一口1,000円～の寄付をいただき、政治活動を安定的に行うことができるようにするため、特定の企業や団体・特定の有力者からしがらみを受けることなく、幅広い皆様からの浄財を頂くことで、自由な政治活動が出来ることを目指しております。

申込用紙は大久保むが事務所からお届け致しますので、下記までご連絡をお願い致します。

〖申込方法〗

事務所にお問い合わせ下さい Tel 093-863-5530 ➡ 申込用紙を送付させて頂きます ➡ 用紙にご記入の上ご返送下さい ➡ 手続完了

※ ご寄付を頂きました皆様には、年1回の使途のご報告をさせて頂いております。

大久保むが事務所
北九州市八幡西区則松二ー九ー二
TEL 〇九三ー八六三ー五五三〇
FAX 〇九三ー八六三ー五五三一
http://www.mugamuga.net/
E-mail yahatanishi@mugamuga.net

活動記録

四月

四日　島根県浜田市・益田市視察
五日　島根県浜田市・益田市視察
六日　陳情現場視察
八日　ひびきの小学校開校式
十日　党地方自治体議員会議（東京）
十一日　千葉県船橋市ボートパーク視察
十四日　会派団会議
十五日　党福岡九区常任幹事会
陳情現場視察
十六日　的場池弓道場開設弓道大会
十九日　教育文化委員会
上天草市へ選挙応援
二十日　議会運営委員会
みんなの職場研究会　会議
二十一日　天草応援
二十二日　小学校PTA総会
北筑高校野球部後援会総会
二十三日　長崎街道ウォーク
二十六日　北九州観光大使　大串奈緒さん来所
二十七日　党県連広報委員会
党県連青年委員会
二十八日　白石かずひろを励ます会
二十九日　北九州メーデー
キャリア教育研究会

五月

一日　お墓参り＆墓掃除
十日　教育文化委員会
十二日　会派団会議
十四日　洞南四地区地域交流会
十五日　教育文化委員会視察
十六日　教育文化委員会視察
十七日　教育文化委員会視察
十八日　地元まちづくり協議会　総会
十九日　参議院議員大島九州男　集い
二十日　連合福岡政治セミナー
陣原ふれあい祭り
中原清掃活動
二十一日　八幡西区議員協議会
二十三日　千葉県千葉市視察
二十四日　千葉県千葉市視察
二十五日　会派団会議・勉強会
二十六日　撥川ほたる祭り
二十七日　地元小学校運動会
二十八日　さつき鑑賞会
二十九日　議会運営委員会
三十一日

六月

一日　党県連広報委員会
二日　議会運営委員会
三日　折尾まつり
四日　NPO法人 和みの会 育英金授与式
七日　六月議会定例会開会
八日　六月議会定例会
九日　六月議会定例会
十一日　六月議会定例会
クリーン北九州まち美化キャンペーン
十二日　六月議会定例会
人権についての勉強会
十四日　六月議会定例会最終日
十五日　中間市議選応援
障害者施設評議委員会
十八日　地域グラウンドゴルフ大会
十一日　地元小学校　学校評議員会
二十三日　会派団会議
二十四日　発達障害を考える講演会
二十五日　北九州青年会議所
高校生がそこまで言って委員会
二十六日　党県連青年委員会
党県連広報委員会
市議会議員森ひろあき政経セミナー
二十七日　地元小学校　家庭教育学級開級式
障害者団体連合会との意見交換会
企画調整局との勉強会
二十八日　労働組合新人研修会にて講演
二十九日　キャリア教育研究会
三十日　連合北九州議員懇談会